

令和8年木瀬川自治会 きせっ家

3月のきせっ家では、刺し子に挑戦しました。その手始めに、「大人のぬり絵」で、自分にあつたデザインを決め、刺し子に備え、今回はさらしを2枚重ね、ハンカチサイズでおこないました。

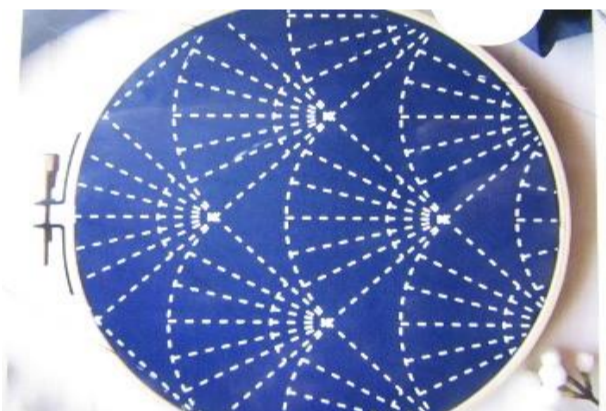
刺し子(さしこ)は、本来藍色の布に白い糸で幾何学模様刺し縫いする、日本に古くから伝わる伝統的な刺繍技法です。16世紀頃の東北地方で、防寒や衣類の補強、耐久性を高めるための生活知恵として生まれたそうです。

現在は、ふきん、小物、インテリアなどで、温かみの手仕事として親しまれています。今回は針通りのよい晒(さらし)で行いました。

懇親会として食事会を開きました。日頃皆で食事をする機会が少ないため、今回企画しました。会話をしながら楽しいひと時をすごしました。



懇親会風景



刺し子



刺し子風景

